

学位授与申請の手引き

(論文博士の学位授与申請者用)

令和7年4月

北見工業大学大学院工学研究科

目 次

1. 学位授与の申請手続	-----	1
2. 学位論文審査等の流れ	-----	2
3. 書類作成要領	-----	3
4. 博士論文のインターネット公表について	-----	6
5. 記入例		
様式13（乙1） 学位申請書	-----	9
様式 6（乙2） 論文目録	-----	10
様式 7（乙3） 論文内容の要旨	-----	11
様式 8（乙4） 履歴書	-----	12
様式14（乙5） 研究業績書	-----	13
（乙6） 研究歴証明書	-----	14
（乙7） 共著者承諾書	-----	15
6. 関係規程等		

1. 学位授与の申請手続

学位については、本学大学院規程第 20 条で授与について定められています。

具体的には、本学学位規程及び学位論文審査取扱要領で定めるほか、授与申請の詳細手続については、この「手引き」で定めるとおりとします。

申請に当たっては、2 ページに記載してあります「学位論文審査等の流れ」に従って手続を行ってください。

なお、「学位申請書」の提出期限については、毎年度始めに決定し、掲示板で周知しますので、留意してください。

また、論文博士の学位を申請しようとする者は、その論文に関連ある専門分野の教授又は准教授の中から担当教員 1 人を定め、申請に当たっては担当教員の指示に従ってください。特に「研究歴」については、別に定める申合せがありますので、留意してください。

2. 学位論文審査等の流れ<論文博士>

- 申請区分 I 本学大学院博士後期課程単位取得退学者(退学後1年以内)学位論文審査取扱要領第22条第1号の該当者
 II 本学大学院博士後期課程単位取得退学者(退学後3年以内)学位論文審査取扱要領第22条第1号の該当者
 III 本学大学院博士後期課程単位取得退学者(退学後3年を超える者)学位論文審査取扱要領第22条第1号の該当者
 IV 博士前期(修士)課程修了後研究歴4年以上の者
 V 大学卒業後研究歴7年以上の者
 VI その他IV・Vと同等以上の研究歴を有する者

提出者・提出先	提出書類・時期等	記入例等	備 考
学位申請者 →担当教員	① [学位論文(仮綴) 2部 論文目録 1部 論文内容の要旨 1部 履歴書 1部 卒業(修)証明書 1部 研究業績書 1部 研究歴証明書 1部 (4月・10月の月上旬) ※上記以外に審査のために必要とする学位論文(仮綴)・参考論文(必要がある場合)等の部数を、担当教員の指示に従い提出すること。	様式6 乙2 様式7 乙3 様式8 乙4 様式14 乙5 乙6	共著論文に関しては、博士の学位を取得していない共著者全員の「共著者承諾書」(乙7)添付 申請区分I～Ⅲによる申請の場合は、研究歴証明書は不要
	予備審査の実施		予備審査結果を担当教員から申請者に通知
学位申請者 (予備審査通過者) →担当教員	② [学位申請書 1部 論文審査手数料 (57,000円(申請区分I以外の者)) インターネット公表保留承認申請書 1部(該当者のみ提出)	様式13 乙1	
担当教員 →専攻主任 →学長(教務課)	学位申請書類一式(①②) ③ 研究歴確認報告書 ④ 審査委員候補者名簿 (学外者は履歴書添付) (4月・10月の下旬)		③申請区分IV～Ⅵによる場合のみ①の書類と合わせて提出すること。
	・申請資格の審査 (申請区分IV・V・Ⅵの内、必要な者のみ) ・論文審査等の付託 ・審査委員の指名 (教務委員会) 審査委員会を組織し、主査を互選		主査の互選後、教務課から各主査へ論文審査・最終試験の実施及び審査結果・学力確認の結果の要旨の提出を依頼する。
担当教員 →学長(教務課)	⑤ 公開発表会開催日程通知書 (開催日の10日前まで)		
	公開発表会について公示 (開催日の7日前まで)		
担当教員 →学位申請者	公開発表会の日程等の通知		
	・論文の審査 ・学力の確認 (公開発表会)(審査委員会)		申請区分I・Ⅱの者については、学力の確認に代えて最終試験を行うことができる。
主査 →学長(教務課)	⑥ [論文審査の結果の要旨 学力の確認の結果の要旨 (規程上の期限8月15日・2月15日を考慮のうえ毎年度決定する)		
	・学位授与の可否を決定 ・インターネット公表保留承認の可否決定 ・学位授与の認定 (教務委員会)(研究科委員会) 【学位記授与者公示 9月・3月】		資料の事前配付 申請者に係る担当教員が属する博士前期課程専修プログラム構成員のみ事前配付し、他専修プログラムは事前回覧する。教務委員には全申請者分を事前配付する。
学位申請者 →教務課	⑦ [KIT-R博士論文登録書 学位論文の全文データ(PDF)等 (学位記授与式の前日まで)		
	⑧ 博士論文の要約データ(PDF) (公表保留について大学の承認を得た者のみ提出)		
	学位記授与式 9月・3月		授与式出欠の確認 (被授与者、担当教員、専攻主任)
	論文内容の要旨・論文審査の結果の要旨を公表 (授与した日から3月以内)		本学ホームページにより、インターネット公表を行う
	学位論文全文を公表 (授与した日から1年以内)		本学KIT-Rへ登録し、インターネット公表を行う

※①～⑧は提出書類等を、乙1～7は記入例等を、アミカケ部分は審査等の流れを示す。

3. 書類作成要領

1 各書類についての共通留意事項

- ① 各様式の記入例を参照して作成すること。
- ② 記入例の外枠（罫線）は、必要な余白の目安として入れてあるので、書類作成時には、入れないこと。ただし、左側は綴じしろとして 30 mm 以上の余白をとること。
- ③ 記入例の外枠の文字及びアミカケ部分は、注記なので作成書類には、入れないこと。
- ④ 書類の記述はインク、ボールペン、タイプ、ワープロのいずれでもよいが、手書きによる場合は、楷書で記述すること。
- ⑤ 大文字・小文字の区別、数式・化学式・記号等及び数量を表す単位等は、正確に記述すること。
- ⑥ 外国語で記述しようとする場合は、事前に担当教員の下承及び指導を受け、論文題目の次にその和訳を（ ）を付して併記すること。
- ⑦ 氏名は、謄本記載のとおりに入力すること。

2 学位論文（仮綴）

- ① 規格 A 4 判縦長
- ② 本文
 - ・横書きとし、ページを記入し、目次を作成すること。
 - ・参考論文を添付する場合は、目次の最後に明記すること。
- ③ 印刷
 - ・論文本文は、両面印刷とすること。（裏面が透けない用紙を使用するとよい。）
 - ・表紙及び背表紙には、「博士論文」・論文題目、年号（年又は年月）、氏名以外は記入しないこと。（次頁参照）
 - ・論文審査は仮綴じ（差し替え可能なもの）で実施するため、製本は不要である。
- ④ 提出部数
 - ・学長（教務課）へ 2 部提出するほかに、審査のために必要とする部数を、担当教員の指示に従い提出する必要があるので留意すること。

3 学位申請書（様式 13）

日付は、予備審査終了の日から提出期限までの日とし、教員記入箇所を除き必要事項を記入すること。

4 論文目録（様式 6）

- ① 「冊数」は、通常 1 冊であるが、2 分冊となる場合は 2 冊とする。
- ② 「印刷公表の方法及び時期」については、審査を受ける論文内容について、既に公表しているもの及び公表予定（掲載決定）のものを記入すること。
共著の場合は共著者名を明記すること。また、博士の学位を取得していない共著者全員から「共著者承諾書」を提出してもらうこと。
- ③ 学位論文に参考論文を添付する場合は、学位論文に準じて記入すること。参考論文がない場合は、「なし」と記入すること。

- ① 論文の内容を和文1,000字程度又は英文700語程度にまとめて記述すること。
- ② 裏面にも氏名を記入すること。

- ① 本籍地は、都道府県名を記入すること。外国人は、国籍を記入すること。
- ② 現住所は、住民票に記載されている住所を記入すること。
- ③ 学歴は、高等学校卒業以降について、順を追って記入すること。
- ④ 職歴は、勤務先、職名を順を追って教育・研究に関する履歴を中心に記入し、現職については、「現在に至る」と明示すること。ない場合は、「なし」と記入すること。
- ⑤ 研究歴は、大学院在学中における研究歴を含め、研究課題（共同研究含む。）、研修、学術調査及び学術奨励金等に関するものについて順を追って記入すること。
- ⑥ 賞罰は、研究に関するものを記入すること。ない場合は、「なし」と記入すること。

博士論文○○○○○○○○年三月○○○○

7 参考論文

学位規程第5条第1項「参考として他の論文等を提出することができる」の規定により提出できる参考論文は、学位論文に対する補助的論文として一体的に審査を受ける場合のものをいい、その他の論文等は、研究業績として取扱う。

参考論文は、担当教員の指示に従って、論文の別刷を提出すること。

8 卒業（修了）証明書

最終学歴の卒業又は修了証明書を提出すること。ただし、最終学歴が本学の場合は、不要である。

9 研究業績書（様式 14）

- ① 研究業績は、原則として学会誌等（学術雑誌を含む。）に印刷公表された論文等をいい、掲載、発表が決定しているものを加えてもよい。
- ② 研究業績は、A4判1～2頁程度とすること。
- ③ 共同研究の場合は、発表者を連名で記入すること。
- ④ 発表論文が冊子等の一部である場合は、頁数を記入すること。
- ⑤ 講演については、開催年度、講演会等名を記入し、講演等が特定できるようにすること。

10 研究歴証明書

- ① 本学大学院博士後期課程の単位取得退学者（申請区分Ⅰ～Ⅲ）は、提出の必要はない。
- ② 本学に在学又は在職していた期間における研究歴を除き、「論文博士の学位授与申請に必要な研究歴について（申合せ）」（29頁）の1の各号に掲げる研究歴について、当該研究を行った組織の長等が発行した証明書を提出すること。
- ③ 研究歴の内容は、研究期間、所属部署、職名、研究主題、研究指導者等について記入すること。
- ④ 研究歴の年数が申請資格を満たしているか否かについては、事前に十分、担当教員と打ち合わせ、必要な証明書を用意しておくこと。

4．博士論文のインターネット公表について

- 1 博士の学位を授与された者は、授与された日から1年以内に、その博士論文の全文をインターネットの利用により公表しなければならない。

2 博士論文のインターネット公表の方法について

(1) 公表手段

博士論文のインターネット公表は、本学の機関リポジトリ「KIT-R」に掲載することにより行う。

博士の学位を授与された者は、博士論文全文のKIT-Rによる公表に際し、権利関係（出版社の著作権ポリシーを含む）の確認について事前に責任を持つて行う必要があるため、著作権の処理が必要になる場合は自身で適切に処理すること。

(2) KIT-R への登録手続き

博士の学位授与を認定された者は、KIT-R 登録書とともに博士論文全文に係る電子データのPDFファイル（以下「全文データ」という。）を学位記授与式の前日までに教務課に提出すること。

「学位授与申請書類の受理基準について（申合せ）」及び「「学位授与申請書類の受理基準について（申合せ）」の運用方針について」を満たす審査対象論文に投稿中の論文が含まれている場合は、全文データを公表する時期（学位授与日から1年以内）をKIT-R登録書の「公開希望日」欄で指定することができる。

3 博士論文全文を公表することができない場合の要約の公表について

- (1) 博士論文全文を公表することができない事由（以下「やむを得ない事由」という。）により、学位授与日から1年を超えて博士論文全文を公表することができない場合には、学位を申請する際（学位授与申請書類提出時）に、「博士論文全文のインターネット公表保留承認申請書」（以下「公表保留承認申請書」という。）により、学長宛てに申請する。

(2) やむを得ない事由の例

- ① 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む場合
- ② 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む場合
- ③ 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から1年を超えて生じる場合

④ その他の事由

(3) 要約を公表する場合の手続等

博士の学位授与を認定された者は、要約データの PDF ファイルを全文データと同時に学位記授与式の前日までに提出すること。

※博士論文の要約については、「やむを得ない事由」に影響がない範囲で、博士論文の構成や全体の内容がわかるものを作成すること。

※全文データを提出する時点で「やむを得ない事由」が学位授与日から1年以内に解消することが予め判っている場合は、当該期間内における博士論文全文を公表できる時期を KIT-R 登録書により届け出ること。

(4) 「やむを得ない事由」が消滅した際の手続き等

「やむを得ない事由」が消滅した場合には博士論文全文を公表する必要があるため、提出した公表保留承認申請書に記載された「全文を公表することが可能となる日」に基づき、情報図書課が KIT-R に登録してある要約データを全文データに差し替える手続きを行う。

※公表保留承認申請書に記載してある「全文を公表することが可能となる日」の延長を希望する場合は、教務課に任意様式で申し出ること。

博士論文全文のインターネット公表保留承認申請書

令和 年 月 日

北見工業大学長 殿

申請者氏名

私が執筆した下記の博士論文の全文について、以下の事由により学位取得予定日から1年以内にインターネットの利用により公表することができませんので、博士論文の内容を要約したものを公表することを申請します。

なお、全文を公表することが可能となる日を迎えた際には、博士論文全文を公表願います。

記

論文題目：

1. 博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由 (□にチェック)

- ☐ 立体形状による表現を含む等の事由
- ☐ 著作権保護、個人情報保護等の事由
- ☐ 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係等の事由
- ☐ その他の事由

2. 全文を公表できない事由の具体的な内容

--

3. 全文を公表することが可能となる日

年 月 日

5. 記入例

記入例 様式13（乙1）

様式13（第23条関係）

学 位 申 請 書

令和 年 月 日

※（予備審査終了の日から提出期限
までの日とすること）

北見工業大学長 殿

氏名 _____

北見工業大学学位規程第4条第3項の規定により、下記の論文に係る書類
を添えて博士の学位授与を申請します。

記

論文題目： Study on Factors ○○○○○○○○○○○ the ○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○ on ○○○○○○○○○○○
（□□□□□に作用する□□□□□□への□□□□因子に関する研究）

※論文題目を外国語で記述する場合は、和訳を（ ）を付して併記すること。
※論文題目は様式6（論文目録）に記入する論文題目と一致すること。

北見工業大学長 殿

上記論文について、下記構成員により予備審査を行った結果、学位申請
書の受理基準を満たしており、博士の学位論文審査に値するものであると
認められました。

記

予備審査実施構成員

教育研究分野名	職名	氏名	備考

担当教員氏名 _____

専攻主任氏名 _____
（担当教員の所属専攻）

様式6(第13条、第23条関係)

論文目録

学位論文

一 題 目 ※外国語で記述する場合は、和訳を()を付して併記すること。

Study on Factors ○○○○○○○○○○ the ○○
○○○○○○○○○○ on ○○○○○○○○○
(□□□□に作用する□□□□への□□□□因子に関する研究)

二 冊 数 ○ 冊

三 印刷公表の方法及び時期(予定も含む)

1. Taro Kitami : Development of ○○○○○ for ○○○○○
○, ○○ No. ○○○, pp, ○○-○○ (19○○年公表)
2. 北見太郎、北見工一、北見工二 : ○○方式○○の実験システムの
○○○○○に関する研究
○○誌、Vol. ○、No. ○○、pp, ○-○ (19○○年公表)
3. 北見工一、北見太郎、北見工二 : ○○による○○の○○を用いた
○○○○○の開発研究
○○学会誌○巻 (20○○年○○月掲載決定)

参考論文 ※ない場合は「なし」と記入すること。

一 題 目

○○の○○による○○に関する○○○○○の研究

二 印刷公表の方法及び時期

○○学会誌○巻○○～○○頁 (19○○年公表)

令和 年 月 日 ※予備審査書類提出期限の日とすること。

申請者氏名 北 見 太 郎

記入例 様式7 (乙3)

様式7(第13条、第23条関係)

論 文 内 容 の 要 旨

令和 年 月 日

※予備審査書類提出期限の日とすること。

氏名 北 見 太 郎

論文題目： Study on Factors ○○○○○○○○○○○○ the ○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○ on ○○○○○○○○○○○○
(□□□□□□に作用する□□□□□□への□□□□因子に関する研究)

※論文題目を外国語で記述する場合は、和訳を（ ）を付して併記すること。

※論文題目は様式6（論文目録）に記入する論文題目と一致すること。

要旨（和文1,000字程度又は英文700語程度）

※裏面を合わせて和文1,000字程度又は英文700語程度にまとめること。

※裏面の上部の氏名も必ず記入すること。

(裏面に続く)

記入例 様式8 (乙4)

様式8(第13条、第23条関係)

履 歴 書

ふりがな き た み た ろ う

氏 名 北 見 太 郎

平成 年 月 日生

※外国人は西暦を記入すること。

本 籍 地 ○ ○ 県

※都道府県名のみ記入すること。

※外国人は国籍を記入すること。

現 住 所 北見市○○町○○番地

※住民票の住所を記入すること。

学 歴

※研究生・科目等履修生については記入しないこと。研究生の期間は研究歴に記入すること。

平成〇〇年3月〇〇日 北海道○○○○高等学校 卒業 ※大学卒業までの学歴は年月のみでも良い。

平成〇〇年4月〇〇日 ○〇大学工学部○○学科 入学

平成〇〇年3月〇〇日 同 上 卒業

平成〇〇年4月〇〇日 ○〇大学大学院工学研究科博士前期課程○○専攻入学

平成〇〇年3月〇〇日 同 上 修了

平成〇〇年4月〇〇日 ○〇大学大学院工学研究科博士後期課程○○専攻入学

平成〇〇年3月〇〇日 同 上 (単位修得) 退学

職 歴

※現在の職を必ず記入すること。非常勤の職は記入しないこと。同一部署の昇任等は記入しないこと。

平成〇〇年 4月 1日 株式会社◎◎◎◎◎◎に入社 ※職歴が無い場合は「なし」

平成〇〇年10月 1日 同社△△△△△研究所に配属 と記入すること。

平成〇〇年 4月 1日 同社△△△△△研究部に異動

平成〇〇年 4月 1日 □□□□□株式会社△△△△研究部に社名変更

平成〇〇年12月27日 同 上 退社

令和〇〇年 4月 1日 ▽▽▽▽▽株式会社▽▽研究開発部に入社 現在に至る

研 究 歴

※期間が学歴・職歴と対応しないときは、研究に従事した場所及び身分を明示すること。

平成〇〇年 4月〇〇日～ ○〇大学大学院工学研究科博士前期課程○○専攻に

平成〇〇年 3月〇〇日 おいて、△△△△△△△△に関する研究に従事

平成〇〇年 4月〇〇日～ 同研究科博士後期課程○○専攻において、同研究を

平成〇〇年 3月〇〇日 継続

平成〇〇年10月〇〇日～ (株) ◎◎◎◎△△△研究所において、○○○○○

平成〇〇年 3月〇〇日 に関する研究に従事

平成〇〇年 4月〇〇日～ (株) ◎◎◎◎△△△研究部及び□□株式会社△△

平成〇〇年12月〇〇日 研究部において、□□□□□に関する研究に従事

令和〇〇年 4月〇〇日～ △△大学大学院工学研究科○○専攻において、研究

令和〇〇年 3月〇〇日 生として、□□□□□に関する研究に従事

令和〇〇年 4月〇〇日～現在 ▽▽株式会社▽▽研究開発部において、□□に関す

る研究開発、及び◎◎◎◎◎に関する研究に従事

賞 罰

令和〇年〇月〇日 論文「○○○○○○○○」により、○○○国○○○

学会から「◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎賞」を受賞

上記のとおり違いありません。

令和 年 月 日 ※予備審査書類提出期限の日とすること。

申請者氏名 北 見 太 郎

様式14（第23条関係）	研 究 業 績 書
※研究業績は、代表的なものとし、極力A4判1～2頁程度にまとめること。	
※発表論文が冊子等の一部である場合は、「〇〇-〇〇頁」、「PP. 〇〇-〇〇」等と記入すること。共同研究の場合は、発表者を連名で記入すること。	
1．論文（学位論文関係） (1) 北見太郎、北見工一、北見工二：「Development of 〇〇〇〇〇〇 for 〇〇〇」　〇〇誌、Vol. 〇〇、No. 〇〇〇〇、pp. 〇〇-〇〇 （１９〇〇） (2) 北見工一、北見太郎、北見工二：「〇〇方式〇〇〇の実験システムの 〇〇に関する研究」　〇〇誌、Vol. 〇〇、No. 〇〇、pp. 〇〇-〇〇 （１９〇〇） (3) 北見太郎、北見工二、北見工一、：「〇〇による〇〇の〇〇〇を用い た〇〇〇〇の開発研究」　〇〇学会誌〇巻（１９〇〇年〇〇月掲載予定）	
2．論文（その他） (1) 北見太郎、北見工一、北見工二：「Development of 〇〇〇〇〇〇 for 〇〇〇」　〇〇誌、Vol. 〇〇、No. 〇〇〇〇、pp. 〇〇-〇〇 （１９〇〇） (2) 北見工一、北見太郎、北見工二：「〇〇方式〇〇〇の実験システムの 〇〇に関する研究」　〇〇誌、Vol. 〇〇、No. 〇〇、pp. 〇〇-〇〇 （１９〇〇）	
※「令和〇〇年度〇〇学術講演会（令和〇〇年〇月）」、「令和〇年度〇〇部門〇〇シンポ ジウム（令和〇年〇月）」など学会等が特定できるように記入 する。	
3．講演（学位論文関係） (1) 北見太郎、北見工一：「〇〇方式による〇〇の〇〇〇〇に関する特性」 〇〇学会、令和〇〇年度〇〇部門〇〇〇〇学術講演会（令和〇〇年〇月） (2) 北見太郎、北見工二：「〇〇による〇〇の〇〇を用いた〇〇〇の検討」 〇〇学会、令和〇〇年度〇〇部門〇〇〇〇シンポジウム（令和〇〇年〇月） (3) 北見太郎、北見工三、：「〇〇の〇〇による〇〇に関する〇〇の研究」 〇〇学会、令和〇〇年度〇〇部門〇〇〇〇学術講演会（令和〇〇年〇月）	
4．講演（その他） (1) 北見太郎、北見工志：「〇〇方式による〇〇の〇〇〇〇に関する特性」 〇〇学会、令和〇〇年度〇〇部門〇〇〇〇シンポジウム（令和〇〇年〇月） (2) その他、〇〇〇〇の〇〇〇〇〇〇研究に関連した講演〇〇回	
5．特許 本論文に関係した特許　　　件 以　上 令和 年 月 日 ※予備審査書類提出期限の日とする。 申請者氏名 <u> 北 見 太 郎 </u>	

令和 年 月 日

北見工業大学長 殿

(株)○○○○○○△△△研究部
部長 ○ ○ ○ ○

博士の学位申請に係る研究歴について（証明）

このことについて、下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1. 申請者 北 見 太 郎

平成○○年○○月○○日生 ※外国人は西暦を記入すること。

2. 研究歴

平成○○年 4月00日～令和○○年12月00日

当社△△△△研究部及び△△△研究部において、▽▽▽▽(株)
派遣研究員として、□□□□に関する研究に従事
(研究指導者 主任研究員 工学博士 ○○ ○○)

令和○○年 4月00日～現 在

当社▽▽研究開発部において、常勤研究員として、□□□に
関する研究開発及び○○○○に関する研究に従事
(研究指導者 主任研究員 工学博士 ○○ ○○)

以 上

※ 本学以外の大学院、研究所、試験・研究機関における研究歴又は研究職
以外の職種としての研究歴について、当該研究を行った組織の長等の研究
歴証明を受けること。

※ 本学以外の大学の専攻科・大学院に在学した期間及び大学又は大学院に
研究生として在学した期間における研究歴については、その期間及び研究
題目・指導教員等について、大学の長又は学部長等の証明を受けること。

共 著 者 承 諾 書

令和 年 月 日

北見工業大学長 殿

氏 名 _____
所 属 _____
現住所 _____
電 話 _____

下記 1 の共著論文の内容については、下記 2 の申請者の主たる貢献
によるものと認め、貴大学院工学研究科に提出する博士の学位論文の
一部として使用することを承諾します。

記

1. 共著論文題目： Development of ○○○○○○ for ○○○

2. 学位授与申請者： 北見 太郎
論文題目： Study on Factors ○○○○○○○○○○ the
○○○○○○○○○○○○○○ on ○○○○○○○○○○○

(□□□□□□に作用する□□□□□□への□□□□因子に関する研究)

6. 関係規程等

※学位論文審査に係る規程・審査日程・各種様式等については、本学ホームページから確認してください。

(本学ホームページ > 工学部・大学院 > 学位)

<https://www.kitami-it.ac.jp/engineering-graduate/gakui/>

ホーム > 工学部・大学院 > 学位

学位

学位については、本学大学院規程、本学位規程及び学位論文審査取扱い要領で定められております。
詳細については、「学位授与申請の手引き」から確認してください。
なお、各種書類はPDFファイルで作成しております。PDFファイルをご利用の方はAdobe Acrobat Reader が必要です。

学位授与申請手続き等

※修士について、博士前期課程改組のため、令和2年度以前入学者と令和3年度以降入学者で取扱いが異なりますのでご注意ください。

- 学位授与申請の手引き（修士・令和3年度以降入学者）（日本語版 ）（英語版 ）
- 学位授与申請の手引き（修士・令和2年度以前入学者）（日本語版 ）（英語版 ）
- 学位授与申請の手引き（課程博士）（日本語版 ）（英語版 ）
- 学位授与申請の手引き（論文博士）（日本語版 ）（英語版 ）
- 令和4年度論文審査日程 

学位申請関係書類の様式

※修士について、博士前期課程改組のため、令和2年度以前入学者と令和3年度以降入学者で取扱いが異なりますのでご注意ください。

- 修士（令和3年度以降入学者）（PDF ）（WORD ）
- 修士（令和2年度以前入学者）（PDF ）（WORD ）
- 課程博士（PDF ）（WORD ）
- 論文博士（PDF ）（WORD ）
- 共著者承諾書（PDF ）（WORD ）
- KIT-R登録書（PDF ）（WORD ）

関係規則等

- 学位論文審査取扱い要領 
- 学位規程 
- 大学院規程 
- 大学院工学研究科における学位論文審査及び最終試験の評価基準 